

2009年1月21日

箱根ロープウェイ、「第2回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」受賞

小田急グループの箱根ロープウェイ株式会社（本社：神奈川県小田原市 社長：舘岡孝）では、「第2回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞しました。なお、2009年1月20日（火）に国土交通省にて大臣による授与式と受賞者の事例報告が行われました。



国土交通副大臣より表彰を受ける舘岡社長(1月20日 国土交通省にて)

受賞理由としてエレベーターやエスカレーターの設置、ゴンドラとホームの段差・隙間の解消、乗車時の一旦停止により、車椅子に乗車したままの乗降を可能にするとともに、各駅には授乳やおしめ交換等ができる「赤ちゃん休憩室」(授乳室)を設置、また車椅子の無料貸出しを行うほか、駅係員の「サービス介助士2級」の資格取得を推進していることなど、このように、厳しい地形のなかでも、ユニバーサルな視点でハード・ソフト両面から施設整備等に取り組んだことを高く評価されたものです。

今後も箱根ロープウェイでは、安全輸送を基盤に接客サービス向上のための研修を積極的に実施するなど、お客さまの視線に立ったハード・ソフト両面でバリアフリー化を推進し、すべてのお客さまが「わかりやすい箱根」「まわりやすい箱根」をめざして取り組んでまいります。

国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰とは

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、公共交通機関、建築物、道路、駐車場、都市公園などの総合的かつ一体的なバリアフリー化を進めていくことになったこと、また、国及び国民の責務として規定された<心のバリアフリー>に関して、バリアフリー化の促進に関する国民の理解を深め、協力を求めるようになったことから、バリアフリー化の推進に向けて国土交通分野における多大な貢献が認められ、かつ顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰し、もって、バリアフリー化に関する優れた取り組みを広く普及させることを目的とするものです。

<受賞事例>



折りたためる Gondola 内の椅子、Gondola と床面をフラットにして段差を解消した乗車口



Gondola がいったん停止し車椅子でそのまま乗り込める Gondola



各駅に設置している
赤ちゃん休憩室(授乳室)

以上

このニュースリリースに関するお問い合わせは
箱根ロープウェイ(株) 索道事業部 営業課 [西山・相川] 電話 0465 - 32 - 2205
までお願いいたします。